

戦争は女性にどのような影響を与えたのだろうか
～資料を織り交ぜ、歴史から現代のつながりを考察～

四街道市立四街道西中学校 有川 美保子

1 実施学年 中学校第3学年 教科・領域 社会科・歴史的分野

2 学習のねらいと博物館活用との関連について

(1) 単元名「戦争は女性にどのような影響を与えたのだろうか」

(2) ねらい

① 学習指導要領との関連

「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編」では、「現代的な諸課題を歴史的に考察する力を育てていくこと」が求められており、歴史的分野の目標においても「現在とのつながり」に着目して多面的・多角的に考察したり、説明したりする力を養うことが明記されている。また、「国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う」とあり、社会科は生徒自身が自ら考え、課題を捉えようとする学習を展開すること必要となる。こうした学習を通して、社会認識に必要な知識・理解や概念、社会認識を深める力、社会変化に主体的に対応していく生きる力を育てていきたいと考える。

これまで学習してきた地理分野、歴史分野、これから学習する公民分野をつなげ、女性の社会進出を多面的、多角的に捉えることで、これからの国際社会にどう生きていくことができるのか考えさせたい。

② 単元の目標

- ・戦争による経済の混乱と社会問題の発生、戦時下の国民の生活を基に、戦争までの経緯と、対戦が人類全体に及ぼした影響を理解する。(知識・技能)
- ・戦時下の国民の生活で、特に女性の生活がどのように変化し、どのようなことを強いられてきたのか、問いを見出し、平和な生活の大切さに気づき表現する。(思考力・判断力・表現力等)
- ・現代に生きる女性、これから社会に出ていく自分たちはどう生きていくことができるのか、主体的に課題意識をもって考察し、追求しようとする。(学びに向かう力・人間性等)

(3) 博物館との連携

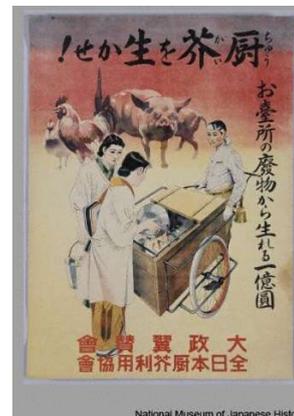
- ① 活用方法 「非来館型活用」
- ② 活用資料 第6展示室で展示されているポスター、写真資料等

大政翼賛会ポスター「厨芥を生かせ！」

【コレクション名】 センソウカンケイポスター

戦争関係ポスター

【資料番号】 H-966-2



今こそ援護も決戦調 (千人針の婦人会)

【コレクション名】 センソウカンケイポスター

戦争関係ポスター

【資料番号】 H-966-27



国民総決起

【コレクション名】 センソウカンケイポスター

戦争関係ポスター

【資料番号】 H-966-43



護れ興亜の兵の家（銃後奉公強化運動）

【コレクション名】 センソウカンケイポスター

戦争関係ポスター

【資料番号】 H-966-65



第6展示室



（4）指導観

生徒の実態としてどの教科に対しても真剣に取り組む生徒が多い。一問一答的な知識を重ねていく学習には抵抗感がなく、歴史的事象を単独の知識として覚えることを目的としている生徒が少なくない。一方で、自らの考えをまとめたり、既習の知識を結び付け発展的な考えに至ったり、現在と過去を結び付けようとする視点を持つことが苦手である生徒が多く見受けられる。特に歴史的事象同士のつながりを見いだすのが苦手で、点として積み重ねてきた知識を、発展的に自ら線で結び付けていくことが難しい。様々な歴史的事象から、「歴史的な見方・考え方」を働かせて課題を追求できる生徒を育成するには、ひとつの問いが、また新しい問いを生んで、学びを促進していくような探求型の学習を行う必要がある。

探求型の学習テーマとし、戦前・戦中・戦後の女性の生き方に着目した。日本史の上で、女性は家の仕事を行う存在であり、子どもを産み育て、家庭を守ることが重んじられてきた。開国し大きく時代が変化し、明治政府による近代化が進められても、女性の地位はそれまでの江戸時代と変わらず、従属的な立場であった。大正時代には、一般大衆に教育が広がり、女性の活躍の場が広がっていくこととなった。大正時代に「主婦」という言葉が生まれ「良妻賢母」というイメージが具体化していった。大恐慌の経済危機は女性の暮らしにも影響を及ぼし、日中戦争が始まると大きく変化していった。出兵した男性の代わりに、働き手と

して、子どもを産み育てる母として、地域を守る存在として、戦時下での女性の役割は重要となる。終戦を迎え、生活の混乱が続く中、新しい社会へと様々な改革が進められ、男女平等が実現し、女性の暮らしが新たな時代へと変化を遂げた。戦後改革により高度経済成長を経験し、女性の社会進出が増え女性像も変化する。女性が、どのように時代の中で翻弄されてきたのか、戦争という悲惨な事実を女性の立場から理解することで、現在の女性の生き方、または自らの生き方まで考えていくことを目標とする。

探求型学習として歴史民俗博物館に展示されているポスター、写真などの資料を活用した。生徒の興味を引き出し、生徒が自ら問いを生み出し、探求し、さらに問いを生む。そして現在の自分たちが生きる社会とのつながりを見いだす。博物館の史資料を1次的に活用するのではなく、地理・歴史・公民の分野を越えて授業に溶け込ませ、生徒の探求心を活性化させ、促進し、生涯にわたって博物館とつながりを持たせたいと考えた。

3 指導計画

① 単元名

「戦争は女性にどのような影響を与えたのだろうか」

② 単元の学習内容と学習活動

時間	○主な学習活動と内容
2時間	○開国後、江戸から明治へと大きく転換し、四民平等となった社会、女性の立場を読み解く。 ○日本の産業革命を支えたのはどのような存在だったのか、製糸業を中心に当時の労働条件の調べることで実態を捉える。
2時間	○第一次世界大戦の背景とその影響、ヨーロッパの女性がどのように戦争に影響を受けたのか資料を活用し調べる。 ○ロシア革命時に日本がどのような政策をとり、国民の生活はどのようなものであったのか。米騒動の発端となった富山の女性像から当時の女性の生活を考える。
2時間	○大正時代に広がった民主主義は女性にどのような影響をもたらしたのか、読み解くことができる。 ○一般大衆への教育の普及、女性の職業、女性像を資料等から調べる。
2時間	○昭和恐慌という経済の変化が、政党内閣の危機を生み出していく過程を調べ影響について話し合う。 ○日中戦争へ向け、兵隊ではない女性がどのように戦争へと巻き込まれていくのか、資料を活用し読み解くことができる。
4時間	○太平洋戦争の始まり ○戦時下の人々

	<p>本時の学習課題 戦時中のポスターから、女性たちに求められていたことを読み取ろう。</p> <p>男性不在の中、国を守る女性たちがどのような役割を持っていたのか資料から読み解くことができる。</p> <p>○戦争終結</p>
2時間	<p>○占領下の日本 壊滅的な打撃を受けた日本で、生活を再建していかなければならない女性は、どのように生きようとしていたのか。</p> <p>○民主化と日本国憲法 選挙権が男女平等となり、初めての女性国会議員が誕生し、女性の権利獲得は、女性の生き方にどう影響したのか考えることができる。</p>

③ 本時

本時のねらい

- ・歴博の戦争ポスターの中から女性がモデルとなっているものを選び、女性は戦争をどうとらえ、どのように暮し、女性の生き方にどのような影響を与えたのか、想像することができる。
- ・歴博のポスターから読み取れることを資料等用い各班で調べ、戦時下の女性の暮らしを理解することができる。
- ・各班で調べた内容をプレゼンテーションし、多角的に理解することができる。
- ・これまで既習してきた戦争で、女性像がどのように変化してきたのか結び付けて考えることができる。

④ 本時の展開〈2時間展開〉

	学習内容及び学習活動
導入	<p>○この一枚のポスターから何を感じたか、これまでの学習内容を生かし考える。</p> <p>○女性がメインのポスターから、戦闘に参加しない女性がどう生きてきたのか、国は女性の存在をどう考えていたのか予測することができる。</p> <div data-bbox="1077 1630 1311 1966" style="text-align: right;"> </div>

<p>展開 1</p>	<p>○女性をモデルにしたポスターに描かれている内容と、タイトルから、国は何を目的としていたのか話し合う。</p> <p>○タイトルの言葉や、内容を資料等で調べ、当時の生活をまとめる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>
<p>展開 2</p>	<p>○戦争がどのように国民を巻き込んでいったのか、調べた内容から発展的に考えることができる。</p> <p>○各班が調べ、話し合った内容を発表し、当時の女性の暮らし、どんな思いで家を守っていたか多面的に理解することができる。</p>
<p>まとめ</p>	<p>○戦時下の女性はどう生きてきたのか、これまでの学習、グループの発表を聞いて考えたことえをまとめる。</p>

4 実践の概要

本実践は、2024(令和6年)年、6月5日(水)、6月7日(金)に、四街道市四街道西中学校の第3学年の3学級、96名(男子47名、女子49名)を対象として実践したものである。歴博の「館蔵資料画像データベース」を資料として、生徒がポスターに描かれている内容をタブレットを使用し調べ、なぜそのポスターが描かれたのか、その背景を捉え、戦時下の中で、女性の生き方に焦点をあて、戦争の本質を捉えさせることを目的とした。自分たちが生きる現代に、戦前・戦中・戦後の女性の生き方がどのように影響しているのか、これから学習する公民へのつながりを持てるよう授業を展開してきた。

本時の導入では、「護れ興亜の兵の家」というポスターを掲示し、生徒が抱いた素直な第一印象をたずねた。

- ・戦争は悲惨なはずなのに「笑顔」なのはなぜ？
- ・戦争が明るい色で描かれている？
- ・「銃後」とはなんの意味だろう？
- ・なぜ女性しか描かれていないの？

次にこれまでの学習で、日中戦争が長引き、太平洋戦争へ突入していくことで、日本の国の状況はどのように変化していったのか確認した。男性がどんどん出兵していくと、国の労働力、家庭などを誰が守るのか、第一次世界大戦を踏まえ、女性の重要性に生徒自身で気付くことができた。本時は、ポスターから国は何を目的としてポスターを作成したのか、戦時中の暮らしがどのようなものであったのか、女性はどのような役割を担っていたのか探求していくという方向付けを行った。そこで使用するポスターは歴博の「館蔵資料画像データベース」から用いていること、私自身が歴博に足を運び、展示されている資料を撮影してきたことを説明した。

ポスター4枚と第6展示室に展示されている襷の写真を、担当グループ(6~7人)を決め、各グループで調べ、まとめ、発表する。ポスターに描かれている文字、絵、感じた雰囲気、なぜそのポスターを作ったのかまで考え、話し合わせた。襷のグループにはその写真が襷であることは教えずに、どう調べるか見守った。それぞれのグループが、タブレットを使用しインターネットから情報を探し、学習している内容を照らし合わせ情報の取捨選択を行っていた。それぞれが調べた内容をグループ内で共有し、それぞれが抱いた「なぜ」を互いに交換し、話し合っていた。まとめあげ、グループの代表がスライドを利用しながらクラス全体に発表を行う。たった1枚のポスターから、予想を超えた生徒の探求の跡が見られ、また発表を真剣に聞き取り、その発表内容から新たな疑問を見いだす生徒もいた。まとめとして戦争をただ悲惨な出来事であったと終わらせたくない思いがあった。生徒は悲惨だから二度と起こしてならないということ是可以する。しかし、戦争と自分とは全くつながりがなく、ひとつの情報としての戦争となってしまうまとめでは、歴史を学ぶ本当の意義が伝わらない。そのため、一枚のポスター、資料から、自らの疑問を探求し、自らがなぜ戦争はいけないのか、女性がどう生きてきたのかを焦点にあてリアルに捉えさたかった。

戦争ポスターから読み取ろう

3年 1組 名前

1 タイトル、標語、団体名から分かること

○今こそ援護も護る
 戦時に行っている戦時から援護も護るべきだ。戦時と支えよう。

○武運長久
 武運が長く続くこと、戦争の中で幸運が長く続くことを願う。

○女性が手にしているものは何だろうか？
 兵士の武運を支える物資、軍需(兵隊)の運送は「戦時運送」で運送する。このポスターの目的は戦時運送を促すことだ。

2 このポスターからどのようなことを考えましたか。
 このポスターの目的は戦時運送を促すことだ。戦時運送の重要性は、戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

<p>2月注</p> <p>3 各組の発表を聞いて感じたこと、考えたことを書きなさい</p> <p>○戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。</p>	<p>3月注</p> <p>○戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。</p>
<p>3月注</p> <p>○戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。</p>	<p>3月注</p> <p>○戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。</p>

戦争ポスターから読み取ろう

3年 1組 名前

1 タイトル、標語、団体名から分かること

○国民総動員
 一億総動員運動のポスター。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

○大政翼賛会
 国民総動員運動のポスター。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

○どのような人々が何をしているのか？
 兵隊や労働者、学生などが戦時運送の物資を運んでいる。(兵隊以外)でいる。

2 このポスターからどのようなことを考えましたか。
 戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

3 各組の発表を聞いて感じたこと、考えたことを書きなさい

○戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

○戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

○戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

戦争ポスターから読み取ろう

3年 1組 名前

1 タイトル、標語、団体名から分かること

○生かす茶厨
 戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

○お茶の味から生まれる一億円
 戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

○大政翼賛会
 戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

2 このポスターからどのようなことを考えましたか。
 戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

3 各組の発表を聞いて感じたこと、考えたことを書きなさい

○戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

○戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

○戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

戦争ポスターから読み取ろう

3年 1組 名前

1 文字から分かること

○大日本国防婦人会とは
 戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

○何に文字が書かれているのか？
 戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

○どのような目的で組織されたのか？
 戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

2 このポスターからどのようなことを考えましたか。
 戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

3 各組の発表を聞いて感じたこと、考えたことを書きなさい

○戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

○戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

○戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。戦時運送の重要性がわかる。

5 成果と課題

生徒が記入したまとめを一部抜粋した。

問い：このポスターからどのようなことを考えましたか。

- ・笑っている女性を使うことによって、女性全体がこの戦争についての女性のイメージを植え付けていると思った。
- ・戦争が長期戦になり、食料や鉄が不足し、人々は様々な知恵を出し合いながら生活していることが分かった。
- ・「国民の全てを戦争へ」というという国の意識を高めようとしたポスターなのではないか。ただ政府はこのような目標を掲げていたが、民衆は表向きに従わないと生きていけなかったのではないかと思った。
- ・男性は勉強を中断したりして命がけで出兵していかなければならない。女性は自分の家族、兄弟、夫、息子、子どもなど失い、見送るのもつらいと思う。失うことが多いのに、国民は一致団結して暮らしていたんだと思った。
- ・一枚のポスターから当時の生活の様子を想像することができた。もっと他のポスターも見たいと思った。
- ・どのポスターも「女性が働く」や「援護」など女性の戦争参加への啓発の内容が多い。長い戦争で兵士だけでなく、陰で活躍した女性たちに救われた人も多かったのではないか。当時の女性はそれが喜びになっていたのではないだろうか。
- ・悲惨な戦争を隠すかのようなポスター。最後には国民の努力が報われず、悲惨な現実が待っていた。それを思うと辛い。

教科書では取り扱いが少ない戦争ポスターを、歴博の資料を利用し多面的に活用できたことは、生徒の探求心を高めることとなった。本時では、これまでの学習で明治維新後からの女性の生き方にも焦点をあてながら、進めてきた。その基盤があるからこそ、ポスターから女性がどう生きなければならなかったのか、歴史的事象として考えたのではなく、生徒の心が戦時中の女性の心をたどるようなまとめができたのではないだろうか。資料を生かし、またその資料を生徒たちは超えていったのではないだろうか。

しかし、通常の授業では、なかなか生徒自身から発生する問いや探求を深めていくことは難しい。毎回完成度の高い授業を行っていくことも難しい。毎回と行かなくても、単元の中で魅力ある授業を展開し、生徒自身が問いを抱き、探求したいという探求心を活性化していくことが必要である。その一つの方法として、歴博は大きな可能性を秘めている。材料をどう提示し、どう活用していくかが社会科教師の大きな役割であると考えられる。

地理・歴史・公民と同じ社会科であるが、生徒は社会科としての繋がりを感じにくいように見受けられる。歴博の資料は歴史の授業にとどまることなく、また社会科という枠にとどまることなく、様々な分野に活用できないか新たに視野を広げることができた。

私が勤務する四街道西中学校は佐倉に隣接している市である。歴博に行ったことがあるかと質問をすると、33人ほどのクラスで5～6人が手を挙げる。行ったことがあるといっても遠足で行った、家族で行ったという生徒が多く、自ら行ったことがあるという生徒はクラスで1人、2人であった。歴博という教育的資源が隣接する市の生徒たちが活用できていないことが残念でならない。現代はほとんどの情報がネット上から拾うことができ、実際に足を運んで見るという行為自体に価値がおかれなくなってきたのかもしれない。様々な情報にあふれているため、自ら情報を取捨選択し、問いを持ち、探求していくことが難しい時代ともいえるのかもしれない。学んでいる、触れている、夢中になっているというような実感を持ちにくい時代だからこそ、歴博がもつ可能性は大きいのではないだろうか。直接歴博に来館することは、教科書やタブレットで簡単に検索できるものと、実際に自分の目で確かめ感じたものでは、熱量の違いを体感するはずである。歴博の扉をくぐると、様々なあふれる情報の世界から、歴博という歴史へと導く一筋の世界へいざなわれ、静寂な中で歴史と対峙することができる。

歴博連携を考えると、生徒自身が歴博を訪れ、自身の探求心を深め、さらに学び続けていくことが理想である。しかし、生徒の瑞々しい問いを大事にするとするならば、社会科教師が日頃行う授業の中で、自身が吟味した資料を効果的に活用し、生徒が問いをたて、探求することに喜びを見いだせるよう働きかけていくことが重要であると考え。

人生100年時代、生徒を取り巻く環境はグローバル化され情報の海を漂流せずに舵を取って生きていかなければならない。AIとい人工知能が発展し、AIができないことを身に付けていかなければならない時代となっている。新たな時代に生きる子どもたちにとって大切なことは、それこそ「なぜだろう」という純粋な問い、知りたいという探求心なのではないだろうか。わかったつもりになってしまう情報過多の社会で、余計なものをそぎ落とし、過去と現在をつなげる歴博は、訪れる者に新鮮な喜びを与え続けてくれるのではないだろうか。

〈参考文献〉

- ・ 脇田晴子『日本女性史』吉川弘文館
- ・ 玉川寛治『製糸工女と富国強兵の時代・生糸が支えた日本資本主義』新日本出版
- ・ 国立歴史民俗博物館編『わくわく！探検 れきはく日本の歴史 1巻先史・古代 2巻中世3巻近世 4巻近代・現代』吉川弘文館
- ・ 国立歴史民俗博物館・原山浩介編『歴博フォーラム 占領下の民衆生活 総合展示室第6室〈現代〉の世界2』東京堂出版
- ・ 国立歴史民俗博物館・安田常雄編『歴博フォーラム 戦後日本の大衆文化 総合展示室第6室〈現代〉の世界3』東京堂出版
- ・ 国立歴史民俗博物館『企画展示 性差の日本史 2020』国立歴史民俗博物館

